

お知らせ

記者発表日

令和2年6月12日

■同時発表先：岡山県政記者クラブ、倉敷記者クラブ、業界紙（山陽建設通信社、建通新聞社、日刊建設新聞社、建設日報、中建日報社）



がんばろう！倉敷・真備

LINEを活用した被害状況の共有（当面の間試行中） ～友達追加をお願いします！～

平成30年7月豪雨を経験した方々の声として『避難時に被災状況の把握に苦慮した』という声が多く寄せられたことから、AI防災協議会に協力頂き、令和2年6月2日12:30～13:30の1時間、LINEを活用し、大雨時の被災状況等を地域全体で共有する訓練を国・県・市・地域住民が連携して実施しました。

LINE訓練の結果、398名が参加し、276件の情報提供がありました。訓練後に実施したWEBアンケートでは、半数以上が「大雨の際に使える」との回答を得たことにより、SNSによる情報共有は有効なツールの一つになりうることを感じました。

LINE訓練に関するご意見とその対応、webアンケートの結果など、当事務所のホームページをご確認下さい。

<http://www.cgr.mlit.go.jp/takaoda/oame/oame-line.html>

LINEを活用した被害状況の共有するシステムは、**当面の間試行**しますので、ご活用ください。

●LINE防災アカウント

- (1) アカウント名 SIP 防災訓練
- (2) 右のQRコードから友達追加ができます。



※ 利用方法詳細は上述ホームページ掲載のLINE防災リーフレットをご確認下さい。

【問い合わせ先】

中国地方整備局 高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
副所長 正木 俊英 代表 086(697)1020
工務課長 水谷 一馬

LINEを活用した防災訓練を実施！

平成30年7月豪雨を経験した方々の声として『避難時に被災状況の把握に苦慮した』という声が多く寄せられたことから、AI防災協議会の協力のもと、令和2年6月2日12:30～13:30の1時間、LINEを活用し、大雨時の被災状況等を地域全体で共有する訓練を国・県・市・地域住民が連携して実施しました。

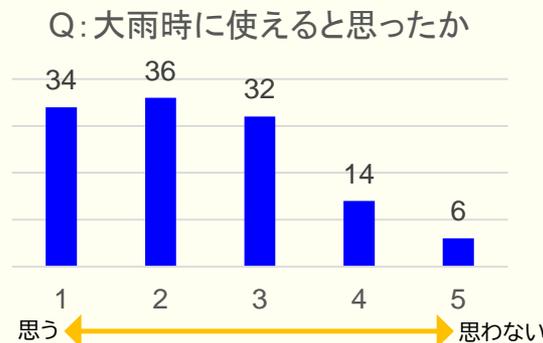
大雨により高梁川及び小田川の水位が上昇し、氾濫危険水位を超過していくという想定の下、地域住民が現地の状況を撮影・LINEで送信したものが、Google マップに自動的に表示されるシステムを活用し、地域の状況を把握し、住民は避難ルートの検討を、行政は被害状況の把握や、復旧方法の検討などを行いました。

LINE訓練へは398名が参加し、276件の情報提供がありました。訓練後に実施したWEBアンケートでは、半数以上が「大雨の際に使える」と感じていましたので、SNSによる情報共有は有効なツールの一つになりうることを感じました。



国交省、倉敷市情報共有訓練
(倉敷市真備支所)

訓練参加者webアンケート結果(122名)



参加者の主な意見

- ・被害の位置がわかるため現在の状態が分かりやすかった。
- ・浸水している場所を避けての行動できそう
- ・情報がリアルタイムにわかり助かる
- ・正確な情報かどうかの判断が必要
- ・システムへの慣れが必要
- ・高齢者には難しかった